

2023年6月16日

各位

会社名 株式会社大和証券グループ本社  
代表者名 執行役社長 中田 誠司  
(コード番号 8601 東証プライム・名証プレミア)

### 資産裏付型セキュリティトークンの累計引受額 170 億円突破のお知らせ

このたび、株式会社大和証券グループ本社傘下の大和証券株式会社(以下「大和証券」)は、ケネディクスグループが運用するファンドをオリジネーターとする資産裏付型セキュリティトークン(以下「資産裏付型ST」)<sup>1</sup>の募集(セキュリティトークンオフリング)において、引受事務主幹事を務め、資産裏付型STの累計引受額が170億円を突破したことをお知らせします。

国内で証券会社が公募を行い発行された資産裏付型STは、2023年6月16日現在で約315億円であり、大和証券は金額ベースで50%を超過するシェアを有しています。

今回募集を実施した資産裏付型STは、浦安市に立地する宿泊施設「グランドニッコー東京ベイ舞浜」の不動産信託受益権を裏付に受益証券発行信託を組成し、当該受益証券発行信託の受益権を小口化したセキュリティトークンとして、投資家に販売されました。なお、募集は既に終了し、完売しております。

大和証券グループは、セキュリティトークンオフリング及びブロックチェーン技術を、中期経営計画「“Passion for the Best” 2023」において基本方針として掲げる「クライアントファーストとクオリティ No.1 の実現」及び「ハイブリッド戦略による新たな資金循環の確立」の実現における重要技術であると位置づけ、セキュリティトークンオフリング及びブロックチェーン技術のビジネス活用について積極的に取り組んでいます。

今後も、「金融・資本市場のパイオニア」として、ブロックチェーン等の先端技術を活用し、事業会社のお客様に対しては、保有アセットのセキュリティトークン化等を通じた多様な資金調達手段の提供を、投資家のお客様に対しては、資産裏付型STによる魅力的な投資機会の提供を行い、社会に対して新たな価値を提供していきます。

---

<sup>1</sup> 「資産裏付型ST」とは、不動産、再生エネルギー等の資産を裏付けとした、有価証券の性質を有するトークンであり、ブロックチェーン等の先端技術を活用して発行・管理される金融商品。我が国においては2020年5月1日に施行された改正金融商品取引法及び関連する政府令の改正施行により「電子記録移転有価証券表示権利等」として規定された。

<大和証券による、資産裏付型 ST の引受実績>

募集有価証券の名称	種別	決議日	引受額
ケネディクス・リアルティ・トークン 赤羽志茂 (譲渡制限付)	学生マンション	2022/2/21	10 億 7,800 万円
ケネディクス・リアルティ・トークン ロンコプロフィットマート厚木 I (譲渡制限付)	物流施設	2022/7/1	69 億 1,500 万円
ケネディクス・リアルティ・トークン ONSEN RYOKAN 由縁 札幌 (譲渡制限付)	宿泊施設	2023/4/3	34 億円
ケネディクス・リアルティ・トークン グランドニッコー東京ベイ 舞浜 (譲渡制限付)	宿泊施設	2023/5/15	58 億 1,500 万円
合計		—	172 億 800 万円

なお本件は金融商品取引所が定める適時開示基準に該当いたしません。

以 上

※本書面は、資産裏付型 ST の取扱いについて、一般向けの公表のみを目的としたプレスリリースであり、日本国内外を問わず個別の金融商品等への募集・勧誘を目的とするものではありません。